

※1 Broadband Wireless Accessの略で、2.5GHz帯の電波を使用し地域の公共・福祉増進などに寄することを目的とした電気通信業務用の無線システムのこと  
 ※2 身体の障がいの有無に関わらず、一緒になって遊ぶことができる遊具のこと  
 ※3 Lesbian(女性同性愛者)、Gay(男性同性愛者)、Bisexual(両性愛者)、Ttansgender(性自認が出生時に割り当てられた性別と異なる人)、Questioning(特定の枠に属さない人)の頭文字をとった言葉で、性的マイノリティの方を表す総称のこと  
 ※4 Assistant Language Teacherの略で、外国語指導助手のこと ※5 ネイティブスピーカーと日本人が気軽に英会話を楽しめる場のこと

基本政策

IV

自然を生かし、環境と調和のとれた美しいまち  
 苦小牧 守ります!

▶ 温室効果ガス実質排出量ゼロを目指します

「苦小牧市環境基本計画」を改定し、2030年温室効果ガス削減目標の達成に取り組みます。また、再生可能エネルギーの導入に向けて、助成制度を拡充するとともに、景観保全の条例を制定します。

▶ ごみの減量、リサイクルの推進、まちの環境美化を追求します

「災害廃棄物処理計画」を策定し、災害廃棄物の適正かつ迅速な処理に努めます。また、沼ノ端クリーンセンターは再度、長寿命化を行い、ごみ焼却施設への投資を抑制します。

▶ クリーンでみどり豊かなまちをつくりま

都市公園における公園灯のLED化など、ゼロカーボンに向けた取組を推進します。また、アルテンにおいてワーケーションの拠点化を進めるなど、豊かな自然の魅力を発信します。

▶ 市が率先して気候変動危機対策の強化を進めます

小中学校や公共施設への太陽光発電の導入を進めます。また、公共工事において、ゼロカーボンに資する内容を仕様に盛り込むなど、官民一体となりゼロカーボンの実現を目指します。

▶ 自然環境の保全と活用、野生動物対策に取り組みます

樽前ガローヤトキサタマップ湿原地区は、保全を優先しつつ、有効な利活用を進めます。また、エゾシカの捕獲数の拡大やジビエとしての活用を調査するなど、野生動物対策を強化します。

基本政策

III

お年寄りや子どもたちが安心して暮らせるまち  
 苦小牧 育てます!

▶ 誰もが心豊かに暮らせるまちを目指します

「苦小牧市健康増進計画」を改定し、市民一人ひとりが意識的に健康づくりに取り組むことができる環境を整備します。

▶ 多様な主体が交流・共生するまちづくりを進めます

地域包括ケアシステムの深化に向け、関係機関との連携を深め各種事業を強化します。また、スマートフォン講座など、時代の要請を踏まえた事業を実施し、地域の課題解決に向けた支援を行います。

▶ 子育て世代の応援と健全育成に取り組みます

コウノトリ検査事業の助成の拡充や、保育所や幼稚園の副食費の免除対象を拡大します。また、ヤングケアラーや医療的ケア児へのサポートを継続して実施します。

▶ 安心で快適な都市環境の整備に取り組みます

市立病院内のWi-Fi利用エリアの拡大及び病室のユニット化を進めます。また、ウトナイ地区に“勇の原公園”を整備するほか、インクルーシブ遊具<sup>※2</sup>を設置し、誰もが遊べる公園づくりに取り組みます。

▶ 市民の生命・財産・安全を守る施策に取り組みます

「苦小牧市地域防災計画」を改定し、市民の安全確保に努めます。また、がん検診の受診率向上や喫煙率の減少に取り組み、健康寿命北海道ナンバー1の都市を目指します。

むすび

私は5期目の基本目標として「財政秩序を守りつつ、財政基盤の更なる強化を図り、20年先を見据えたまちづくりの実践にチャレンジ!」を掲げ、基本テーマを「～支えあい助けあふ ふくしのまちづくり～」と設定しました。3期目、4期目に続く、ふくしのまちづくりへの挑戦となりますが、公約実現のため、新たな時代に即した施策を展開し、市民との約束を果たしてまいります。

人口減少と少子高齢化の進行に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的大流行や、大雨や地震などによる自然災害、更にはロシアによるウクライナ侵攻など、私たちを取り巻く環境は目まぐるしく変化しており、難しい市政運営が求められます。

与えられた4年間、市民のため、そして市政発展のために、市民の皆様とこのまちの将来像を共有し、未来につながるまちづくりを目指してチャレンジを続けてまいります。

※記載内容は「市政に臨む基本方針」を要約したものです。全文は市役所2階情報コーナーや市HPでご覧になれます。

基本政策

V

心の通い合う、優しい音楽の流れる暖かなまち  
 苦小牧 愛します!

▶ 男女平等参画都市宣言の理念を踏まえたまちづくりに取り組みます

LGBTQ<sup>※3</sup>やデートDVに関する出前講座、講演会を実施します。また、配偶者暴力相談支援センターの窓口時間の延長や託児付きで相談できる環境を整備します。

▶ まちの国際化を推進します

市役所の総合窓口フロアに翻訳機を導入するなど、多言語に対応する体制を整備します。また、小中学校において、ALT<sup>※4</sup>を活用したイングリッシュカフェ<sup>※5</sup>を実施します。

▶ スポーツや文化芸術の振興を図ります

老朽化した施設の対策を講じるとともに、スケートボードの練習環境を整備します。また、美術博物館において、展示の充実を図るほか、特別展示開催時の開館時間を延長します。

▶ 子どもたちの学習環境を整えます

「苦小牧市学校教育推進計画」を策定し、義務教育で目指す方向性を定めます。また、不登校の対策強化や植苗小中学校の義務教育学校化に取り組みます。

▶ 誰もが学び、参加できる喜びが得られる事業を実施します

北洋大学と協力し、英語講座など市民公開講座を開設します。また、性的少数者のカップルを公的に認めるパートナーシップ制度を導入します。